

糖尿病



松阪市マスコットキャラクター
「ちゃちゃも」

作成：医事課

<病気について>

糖尿病とは**血糖**(血液中のブドウ糖)が食前、食後問わず高い状態をさす病気です。ブドウ糖は体のいろいろな細胞(脳、筋肉、肝臓など)に取り込まれて、エネルギー源として役に立ちます。通常では、**膵臓**から分泌される**インスリン**という血糖を下げるホルモンによって調節されています。このインスリンの分泌が低下し、その働きが十分でなくなり、ブドウ糖がエネルギーを必要としている細胞の中に運ばれなくなり血糖が高くなります。

1 型糖尿病

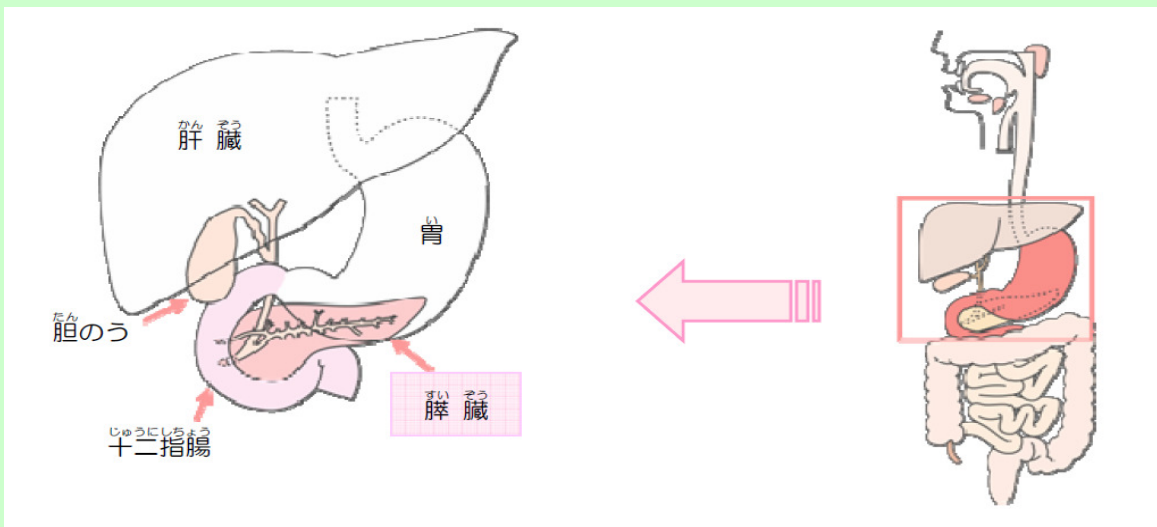
若年者に多いです。インスリン分泌が極度に低下、ほとんど分泌無し。

生活習慣は関係なし

2 型糖尿病

約90%がこの型の糖尿病です。インスリン分泌低下、感受性低下。

生活習慣が関係有り



<症状>

糖尿病は、多少血糖値が高いくらいでは症状がでない人がほとんどで、気づきにくく、**早期発見、早期治療には定期的な健診を受けていただくことが大切です。**

高血糖の自覚症状としては以下のような症状が挙げられます。

- ・喉がかわく
- ・急激な体重の減少
- ・体がだるくなる
- ・尿の量と回数が多くなる(特に夜間)

治療により血糖値が低下するとこれらの症状は収まります。

血糖値がさらに高くなると、重篤な**糖尿病性昏睡**を来し、**意識障害**、**腹痛**などをきたすこともあります。

糖尿病の本当の怖さは合併症にあります。

症状が無くても糖尿病は徐々に進行し、恐ろしい合併症を引き起こします。

とうりょうびょうせいしんけいしょうがい

糖尿病性神経障害

合併症の最も早く出てくる合併症です。以下のような症状があります。

まっしょうしんけいしょうがい

末梢神経障害—手足のしびれ、足裏の違和感

じりつしんけいしょうがい

自律神経障害—便秘、立ちくらみ、勃起不全

とうりょうびょうもうまくしょう

糖尿病網膜症

発症すると視力が低下します。なかには失明する場合もあります。また、白内障になる人もいます。

とうりょうびょうせいじんしょう

糖尿病性腎症

腎臓が悪くなり、徐々に尿が作れなくなります。進行すると、週に2、3回の人工透析が必要となります。

どうみやくこうか

動脈硬化

糖尿病のない人に比べて5~6倍多く現れます。この動脈硬化が脳の血管で進展すると脳梗塞に、心臓に栄養を送る冠動脈で進展すると狭心症や心筋梗塞に、足の血管で進展すると閉塞性動脈硬化症になります。

<検査>

1. 普段の血糖値を計る
2. 朝、何も食べていないときの血糖値を測る
3. ブドウ糖を飲んだ後の血糖値

この3つのどれかに異常値が出たら、別の日にもう一度検査をします。そしてまた異常値が出たら、糖尿病と診断されます。

<治療>

食事療法 体格、身体活動量に合わせた食事をします。

運動療法 医師の指導で自分にあった運動メニューを行います。

薬物療法 血糖値を下げる為の経口薬あるいは体重を増やさずに血糖を改善する自己注射（GLP-1受容体作動薬）を投薬します。それでも血糖値が正常化しない場合、インスリン自己注射を開始します。最近では早期にインスリンを使用し、膵臓を休ませるという考えもあります。

<入院費～概算～>

糖尿病コントロール、インスリン導入目的入院（14日間入院）

1割・2割負担の場合	44,400円（上限）
3割負担の場合	150,000円 前後

※食事代金、個室代金は含まれていません。

※高額医療の方は、申請により限度額認定証が交付されますので、詳細は医事課まで御連絡下さい。

<平成28年度当院データ>

- ・糖尿病での入院患者数 32件
- ・平均入院日数 15.7日

※パンフレットに関するご不明な点等ございましたら、

医事課までお気軽にお尋ね下さい。

松阪市民病院